

駒ヶ根市文化財

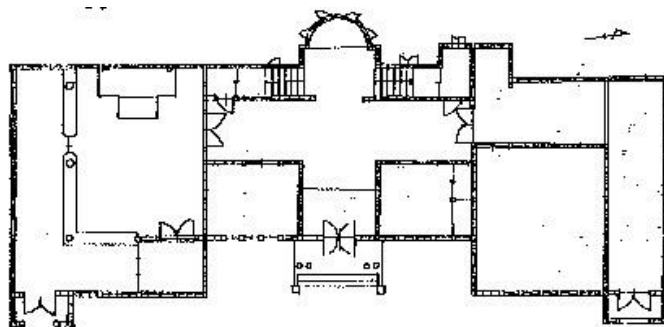
名称	旧駒ヶ根市役所庁舎
種別	建造物
指定	市・有形文化財(昭和 51. 3. 30)
所在地	赤穂 25-1
所有者	駒ヶ根市
説明	<p>本庁舎は大正 11 年(1922)10 月に赤穂村役場として、建築費 5 万円をかけて竣工した建物である。</p> <p>木造一部 2 階建とし、建築面積は、421.58 平方メートルで、屋根は桧鉄板葺寄棟造で、正面玄関、ペランダが付いている。規模は桁行側面 30.90m、梁行側面 13.17m で、外部は白漆喰仕上であり、内部は一部土間、他は敷石と板張となっている。</p> <p>福沢泰江村長の構想により、伊那村(現東伊那)出身の伊藤文四郎氏が考案指導に当たり、近世コロニヤル様式を取り入れ、内部装飾は近世ルネッサンス風で当時の村役場としては、豪華なものであった。昭和 46 年(1971)秋、新庁舎完成に伴い、駒ヶ根市郷土館として現位置に一部移築、ここに郷土資料を展示して隣接する旧竹村家とともに広く一般に公開している。</p>



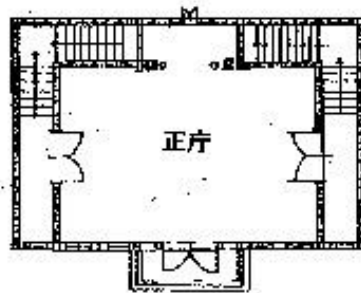
旧市役所庁舎 正面



資料室



一階平面図



二階平面図